

ハスモンヨトウ幼虫の薬剤感受性を調査しました

ハスモンヨトウは様々な作物の葉や果実を暴食する害虫で、甚大な被害が発生します。近年、一部の殺虫剤の効果が低下している疑いが報告されていたことから、県内の圃場から採集した個体群について、感受性検定を実施しました。



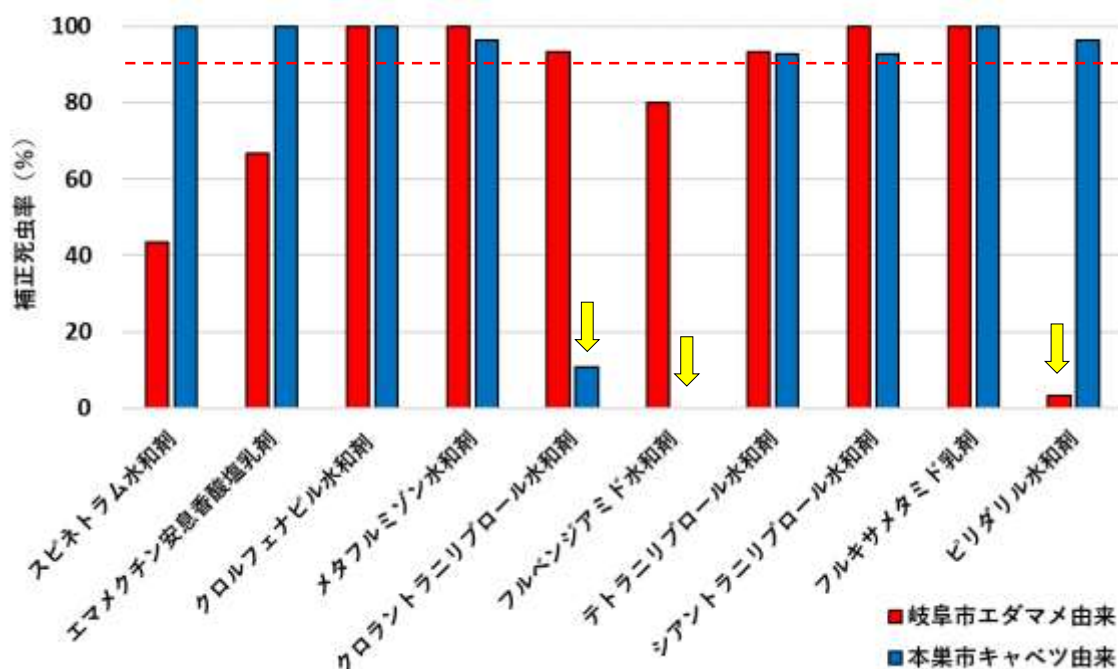
ハスモンヨトウの幼虫



食害されたダイズ葉



感受性検定の様子



供試薬剤に対するハスモンヨトウ3齢幼虫の補正死虫率（結果の一部）

補正死虫率90%（赤破線）以上の薬剤は、効果が高いことを示す
黄矢印は、特に効果が低下している疑いがあることを示す

（研究成果）

- ・ クロラントラニプロール水和剤、フルベンジアミド水和剤およびピリダリル水和剤に対し、感受性が低下している個体群が確認されました。
- ・ クロルフェナピル水和剤、メタフルミゾン水和剤およびフルキサメタミド乳剤は、すべての個体群で高い効果が確認されました。
- ・ 感受性低下を回避するため、系統の異なる薬剤をローテーションして使用してください（IRACコードを参照）。